

発信年月日：平成 27 年(2015 年)12 月 4 日  
所 属 名：湖東農産普及課  
番 号：F15013  
部 門 分 類：430（地域・農村計画）  
発 信 者 名：湖東地域農業活性化推進チーム（担当：川村）

## 「農村社会」へのアプローチを進めるため 農業・農村活性化研修会を開催

地域農業戦略指針に基づく農業・農村の活性化を進めるため、去る 11 月 30 日に湖東地域農業センター担い手育成部会主催による「農業・農村活性化研修会」が開催されました。

滋賀県農業・農村活性化サポートセンターアドバイザーの伊庭治彦先生（京都大学大学院農学研究科准教授）を講師に招き、農村社会と地域農業にある課題を共有したあと、参加した関係者 41 名を市町ごとに班分けし、具体的なグループワークを行いました。

湖東地域では、各市町単位で連携会議やミーティング等の名称で行っている会議を「戦略推進会議」に位置付けていますが、「農村社会に対する支援活動」のイメージがなかなか共有できずにいます。

そこで、市町、JA、NOSAI、土地改良区、農業センターや当事務所の担当者が集い、関係機関・団体間での情報や認識を共有することを目的に、標記研修会を開催しました。

研修会前半では、伊庭先生から「農村社会と地域農業の維持に関する今日の課題」の講演をいただき、地域農業が衰退すれば農村社会への影響が懸念されることや、「非農家の目線から見た農業・農村」を理解する必要性など、関係者の気付きにつながる内容を学ぶことができました。

後半は、各市町ごとに 7～10 名程度のグループに分かれ、伊庭先生の示された検討項目に基づき、当課職員が進行役となり話し合いを進めました。

各グループで具体的な支援対象集落を選定し、その集落の目指すべき農村社会と地域農業を想像し、関係機関からのアプローチについて話し合いました。

集落営農組織と個別経営体が存在する集落、山間地で農家減少が進む集落、小規模農家が健在な集落など、各市町の実情に応じた話し合いが進められました。各グループからの発表の後、伊庭先生からのアドバイスもいただき、有意義な研修会となりました。

今回の研修で得た考え方や地域支援の進め方を活用し、今後も関係機関の連携と誘導を図っていく予定です。



伊庭先生の講演



グループワーク